

◆政府の取り組み

< 中小サービス等生産性戦略プラットフォーム（2018年2月発足）の取り組み >

- 3年間の政策集中期間に、中小企業のIT化等を通じた生産性向上を100万社規模で推進。
①中小企業支援策、②IT導入補助金情報、③各関連業界の活動等の情報を官民で共有・展開。
- 全国レベルでは関係省庁・団体による「IT導入補助金説明会」、「課題・業種別検討・報告会」、「ホームページ、メーリングリストの運用」等を予定。各地域では経済産業局が中心となり計1,000回以上の生産性向上セミナーを予定。

< H29補正「IT導入補助金」（500億円）について >

- 約13万社のIT導入を支援。補助上限：50万円（下限15万円）、補助率：2分の1
- 事務局に登録されたソフトウェア、クラウドサービス等が対象（ハードは対象外）。
専門家による相談対応等のサポート費用やクラウドサービス利用料も含む。
- 1次公募：4/20～6/4、2次：6月～8月、3次：8月～10月 ※2次以降は変動の場合あり

< フォローアップ >

- プラットフォームにおいて3年間の集中期間に実施し、労働生産性の伸び率2.0%を目指す。
（業務プロセス全体の見直しとIT化の推進をセットとした生産性向上アプローチの普及 等）

◆日本商工会議所の取り組み

- 「中小企業活力増強のためのITサービス・レシピ集」の公表（4/20第1版）
経営課題に即したITサービス（ツール）、効用、費用等を一覧化して提示。
- 「経営活力プラス実践塾・セミナー（仮称）」の開催（6～9月頃で調整中）
NTTと共催。47都道府県庁所在地および拠点都市など最大100カ所。
IT導入補助金の説明、IT活用への気づきを促す講演・事例発表、課題解決に資するIT・IoTサービスの展示（出会いの場の創出）、ITコーディネータ等による相談会の実施 等。